

会計セミナー「実務編」(京都)



◆日時 令和元年10月15日(火) 共通講義 13:00~16:30
 10月16日(水) 一般法人 10:00~12:00
 公益法人 13:30~16:30

◆講師 公認会計士 辺土名 厚 先生
 ◆参加費 会員 14,168円(消費税込)
 副読本購入済の方 11,000円(消費税込)
 非会員 19,668円(消費税込)
 副読本購入済の方 16,500円(消費税込)

◆定員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)
 ◆会場 登録会館(京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町546-2)

※副読本『会計実務(補訂版)』を使用。ご購入済みの方は必ずご持参下さい。

※理解を深めるため前年度決算書のご持参をお勧めします。



実務編は、初日の午後は公益法人と一般法人の共通の項目について講義を行います。基礎編で説明していない決算書の様式、制度上の要請により求められた会計区分やそれに関する貸借対照表内訳表、さらに公益法人会計の特有な個別論点について説明します。

2日目の午前中は一般法人を午後は公益法人を対象に各々特有な項目を説明します。入門編・基礎編で、取り上げていない項目が多数あり、また決算編への橋渡しの講座内容になっています。

講師は公益法人会計の第一人者で多数の執筆、講演をこなす「わかりやすく、ポイントを押さえる」と評判の公認会計士 辺土名 厚 先生です。

この機会をお見逃しなく、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

◇講義内容◇

1日目

公益法人・一般法人共通

13:00~16:30

I. 公益法人会計基準

- (1) 「公益法人会計基準」の運用指針で定めている決算書の様式
- (2) 会計区分について
- (3) 貸借対照表内訳表について

II. 個別論点

- (1) 指定正味財産と一般正味財産
- (2) 補助金等
- (3) 事業費と管理費の概念と配賦
- (4) 会計区分を前提にした仕訳の仕方
- (5) 正味財産増減計算書内訳表上の正味財産の期首及び期末残高の記載

2日目

午前 一般法人編

10:00~12:00

- (1) 一般法人の収益・費用における区分の留意点
- (2) 実施事業資産と注記の記載方法

午後 公益法人編

13:30~16:30

- (1) 公益法人の収益・費用における区分の留意点
- (2) 基本財産及び特定資産と控除対象財産の関係
- (3) 法人会計を省略できる場合とその留意点
- (4) 他会計振替額の処理

